



田園 一月号

(No.711. 2024.1.1)

カトリック田園調布教会報

☎03(3721)7271

〒145-0071 東京都大田区田園調布3-43-1

シノドスについて考える

主任司祭 ドミニコ竹内正美神父

カトリック田園調布教会の信徒の皆様

新年あけましておめでとうございます。

神様と救い主イエス・キリストの祝福が皆さんの上に豊かにありますように！

「シノドスへの道」

教皇様の強い思いは「コロナ禍による“危機”を“機会”と捉え、教会の刷新、新たな教会への旅立ちの機会とする」、世界のすべての司祭、信徒の参加でそれを進めたいという強い思いからだと言えます。

フランススコ教皇様は二〇二三年秋に世界代表司教会議（シノドス）の第十六回通常総会を開催することを決定され、菊池大司教様が出席、そのテーマを「ともに歩む教会のためー交わり、参加、そして宣教ー」と定められました。

「ともに歩む教会のためー交わり、参加、そして宣教」をテーマに十月十日にバチカンで、十七日に日本を含む全世界の教区で、開始を告げるミサと共に始まりました。

二〇二三年十月に予定する世界代表司教会議（シノドス）第十六回通常総会に向けて、世界の全ての司祭、信徒が参加し、小教区、教区、国、そして世界と段階を追って歩みを進めていく前例のない、画期的な試みですが、世界はもちろん、日本の教会を見ても前向きであるように見えません。



そうした中で、東京教区など前向きな取り組みを進めようとする教区でさえも、司祭、信徒の間でなぜ今？小教区や教区でどのように交わり、参加、そして宣教を進めるのか？

それとも何を話し合おうというのか？

多くの事柄が解消されずにいます。シノドスそのものが小教区の信徒一人一人に浸透していないのが現実です。その原因は三年ほど続いたコロナ禍なのか？

東京教区では菊地大司教様が小西広志神父様（フランシスコ会）をシノドス準備に向けた教区担当者として任命いたしました。小西神父様は大司教区の「シノドスの取り組み方」の中で具体的な取り組みについて述べています。

宣教司牧を大切に！これは二〇二〇年に発表した東京教区宣教司牧方針です。ここで取り上げている三つの柱「宣教する共同体、交わりの共同体、すべての命を大

切にする共同体」を実現させることを目指します。

菊地大司教様も「互いの声に耳を傾け、祈りのうちに一致して支え合いながら歩みを進める、シノドスの教会を目指したいと思います」と述べています。

信徒の皆さん、シノドスの精神と教区の三つの柱を中心に具体的に私たちの教会共同体がどうあるべきかを考え、刷新し、共に前進して行くように努力して参りましょう。



敬老会 二〇二三年

九月十七日にコロナ禍を経て久しぶりの敬老の集いが行われました。

今回は皆様の歓談の場をとの思いで、ホールに椅子とテーブルを置き、飲み物とお菓子を用意してみました。



百人近くの方々がいらして下さり、神父様、神学生の方々も参加して下さい、和やかな集いとなりました。

（教会委員会）

七五三 二〇二三年

十一月十二日九時ミサにて、竹内正美主任司祭の司式のもと七五三のお祝いが行われました。

男の子一名、女の子十名、計十一名の子供たちとご家族様が参列されました。



子供たちは少し緊張した面持ちでしたが、神父様のお話を一生懸命聞いていました。

晴れ着に身を包みはにかみながらも誇らしそうに、そして輝くばかりの笑顔で私たちにもお恵みと喜びをわけてくれました。



無事この節目の日を迎えられたことを神様に感謝し、子供たちの健やかな成長を心よりお祈りいたします。

(教会委員会)

宣教協力体合同堅信式二〇二三年

十一月十二日(日) 碑文谷教会聖堂にて 菊地功大司教様の司式により、六十一名の方が合同堅信式に臨まれました。

田園調布教会からは十一名(八名が中学生)が受堅されました。

通い慣れた教会では無く荘厳な碑文谷教会で、緊張感を持って始まった堅信式でしたが、終了後の皆様の晴れやかなお顔から、感動が伝わってきました。私も新たな気持ちで、信仰生活を送りたいと思いました。

(教会委員会 村井由美)



【受聖者感想文】

クララ Y・O

二〇二二年年末、悲喜が一举に訪れた。娘が結婚し、六年臍臓がんと闘った夫がその同日に亡くなり、その前々日、洗礼を望む夫にコロナ禍で手ずから緊急洗礼を施した。混乱と喪失感で呆然とする中、多くの人の支えを受けながら、起こったことの意味、つまり神様のご意図を必死に考えることで、自分を支えていたように思う。

クララそして夫の霊名を頂いたフランシスコゆかりの地アジジ、枝の日はバチカン、天草・島原・長崎にと答えを求めて巡り、アジジでは丘の頂、ロッカ・マツジョーレで夫の存在を感じるなど、奇跡と呼ぶべき経験をした。

天草・島原巡礼ではご同行が夫の中高の恩師の神父様だと判明したり、幼稚園時代に祈りを教わり信仰の種を蒔いてくださり、

今は長崎在住のシスターをお訪ねする機会にも恵まれた。



迷いながら生きる自分にとって、教会は答えとなる言葉を得る場である。すぐには役立たずとも、祈りで出会い心の底にしまった言葉に助けられたのは、昨年だけではない。

恥ずかしながら教会に足を運ぶのは年に数回、しかしその都度、迷いへの答えにありつかせてもらったように思う。

自分の信仰は、蝋燭の灯のように小さく儂い。が、「暗闇であれば、暗闇だからこそ僅かな灯の有難みが分かる」洗礼を授けてくださった時の神父様の言葉の通りだ。灯に感謝どころか気づくことさえできなかった自分に敢えて暗闇を見せる、その計らい。受洗後数十年も堅信を怠っていたが、夫の月命日に訪れた際、受付で勉強会のお知らせを見て「私の時が来た」と感じた。

固形物が喉を通らずご聖体を頂けなかった夫が生前与れた秘跡は、洗礼のみ。申し訳ない気持ちでいたが、堅信勉強会で受洗とともに未信者時代、信者との結婚が準秘跡になると教わり、なによりうれしくなった。今度は自分の堅信の番だと、思いを新たにした。堅信名は変えず、クララを引き続いた。

おりしも秋の堅信式は、夫の所縁があるサレジオ教会。この上ないめぐり合わせを整えてくださった神様の呼びかけに、応えたいわけにはいかない。全く神様の計画は緻

密で見事だ。義姉も駆けつけてくれた。
菊池大司教様と司祭団の司式の中、涙腺が
緩んで仕方がなかった。想い、行い、怠り
だらけの迷子の羊一匹も神様が見捨てず愛
してください、こんなにも実感した時はな
い。ありがとうございます。

マグダレナ・ソフィア K・S

今回、堅信を受けて、洗礼を受けたとき
や、初聖体を受けた時に比べて、自分が大
人として扱われる存在になったということ
を自覚しました。勉強会の時に神父様が「堅
信は大人になった証」だとおっしゃってい
て、私はまだ自分のことを小学生から上が
ったばかりの子供だと思っていたため、そ
の言葉には少し驚きました。

しかし、意識してみると、初聖体の勉強会
では、賑やかな雰囲気でしたが、堅信の勉
強会では、静かで緊張感があり、勉強する
内容も以前より難しくなっていました。

また、別の教会に行き、司教様に会うとい
うのも初聖体の時とは違う緊張感を感じま
した。正直、勉強会は大変だったし、別の
教会で大勢の人々の前で行うのも緊張した
けれど、それほど堅信が大切なものなのだ
と感じたため、心を込めて堅信を受けるこ
とができたと思います。

自分が大人になった証であり、重みのある
堅信を受けたということを自覚し、これか
らも神様やイエス様を信じて過ごしてい
きたいです。



アッシジのフランシスコ K・M
私は、今年の復活祭のときに洗礼を受け
ました。そのため、ちょうど堅信式への勉
強会が始まったころの一年前は洗礼式への
勉強を行っていました。

キリスト教系の学校に通っているため、あ
る程度の知識はあったのですが、洗礼式の
勉強の中でカトリックの考え方、ミサや普
段の祈りなどに込められた意味などのさま
ざまなことを新しく勉強し、得ることがで
きました。

そして、無事に洗礼式を終えることができ
たのですが、今回の合同堅信式の案内が届
き、合同堅信式を受けることを決めました。

合同堅信式のための勉強会では、竹内神父
様が七つの秘跡についてそれぞれの日の勉
強会ごとにお話をわかりやすくしてくださ
り、改めて七つの秘跡について理解するこ
とができたと思います。

また、勉強会の期間の間に一度はゆるしの

秘跡を受ける必要があり、いままでゆるしの秘跡を受けたことがなく、受け方もよくわかっていなかったため、今回のタイミングで知ることができ、実際にゆるしの秘跡を受けることができたため、よかったです。無事に罪を告白して、償う祈りを行うことができました。

合同堅信式当日は少し緊張しましたが、大勢の堅信を受ける人がいて、全員で受けることができたため、その分緊張しすぎることはなかったと思います。人生に一度しかない堅信式を無事に受けることができてよかったです。



小さき花のテレジア M・S

世田谷南宣教協力体の合同堅信式で堅信を受けました。たくさんの方々にお祝いして頂き、とても嬉しかったです。

勉強会では七つの秘跡について詳しく教えて頂きました。それぞれの秘跡にとっても大切な意味があり、生涯の必要な時に主が共

にいてくださる事を深く感じられたと思います。

また、ゆるしの秘跡を受けるにあたって、自分が神から離れることがなかったか、神に背いていなかったかを振り返るよい機会となりました。

自分の罪を告白して悔い改めの祈りを唱えた後はとても心が落ち着いて、よい静けさの中でお祈りすることができたと感じました。これからも神から離れることがないよう、毎日を過ごしていきたいです。

堅信式の当日のミサでは、普段よりもつと神様と心を通わせ、静かな雰囲気の中でお祈りできました。塗油の場面では神様のお恵みを感じ感動しました。

たくさんの方々と共に神の子として一歩進めたこと、恵みを受けられたこととても嬉しく思いました。今回の堅信式を経て学んだこと、心に深く刻まれた大切な

思い出をいつまでも忘れずに心の内に留めておきたいです。

これから生きる上で神様がいてくださること、神様への深い感謝を常に忘れず神様に背かないようにすることを噛み締めていきます。

神様の恵みを頂いて信仰を深めることができました。支えて下さった方々に心から感謝いたします。



四年ぶりのバザー開催

昨秋、バザーが久しぶりに開催されました。コロナ禍で中断され、二〇一九年から実に四年ぶりでした。

バザーの出店数について、関係者の中では当初五グループ程度の応募で留まることもありうる、などの見立てもありましたが、実際には二十七グループの出店と大変多く、売り場面積のほとんどを使うほどの配置を組めました。皆さまのバザーへの関心の高さがこの点からも窺えました。



バザーで販売されていた品は、献品、中古衣料、手作り作品、本、アクセサリ、花など様々あり、「いつものバザーが戻ってきた」という印象がありました。一方で、例年だといつも出されていた食べ物が、感染予防のために控えられました。この点は多くの方がその事情にご理解を示しつつも、やはり少し残念に感じられていたかと思えます。



二〇二三年のバザーは、新しい工夫がその他にもありました。例えば、人の密を避けるため、バザーの通知を積極的には行いませんでした。売り場の面積を小さく分割

し、ホールの手前三分の一をスペースとして確保して、売り側もお客様もゆったりできるようにしました。

二〇二三年のバザーの目的は「私達の教会は私達の手で（教会施設の維持・整備）。新しいかたちのバザーを作っていこう。」というものでした。

大聖堂、信徒会館を維持したい、可能な限り長く存続してほしい、とは我々信徒全員が願うところかと思えます。バザー寄付金は維持費を支える大事な役割もあり、その意味においても大事な行事になっています。

二〇二四年のバザーでは二〇二三年よりもさらに盛り上がり、参加しても多くの人と交流できて楽しくもあるし、それと同時に教会の維持にも大きく寄与できている、そのような形をみんなで自然に作っていただけるととても良いなと思います。

（二〇二三年バザー総務 金子）

五島巡礼 小さな島々

写真・文 柳沢 洋子

いつまで五島巡礼の話が続くのかとあきらめられそうですが、念願叶っての大旅行、無人の野崎島を含めて八島、二十四か所の教会を廻ったので、もうしばらくご辛抱ください。

二十四か所の内、いくつかの教会は信者数の減少によって教会としては使われていない所もありましたが、叶うことならもう一度行きたいと思う教会が沢山ありました。

そんなに沢山行って、どれがどれやら分からなくならない？と聞かれるのですが、それぞれが建てられた場所の条件や風景にあっており、建物の設計も違うので、写真を見るとほぼ名前を思い出せます。

その中で、若松大島（中通島と橋で繋がっている）若松大浦教会はマリア像が印象に残りました。普通、お御堂の正面には十

字架があるものですが、この教会はマリア像が正面の中心にかかげられており（十字架は祭壇の上）、そのマリア様がなんとも言えず、親しみのあるふつくらとかわいいお顔でした。



【 若松大浦教会 】

その日のタクシーの運転手さんも、信者さんではありませんでしたが、身近に感じられて良いよねと言っていました。

余談ではありますが、若松大島と頭が島は距離の近い中通島と橋で繋がっています。

よそ者から見ると、さぞ便利になったのだろうと思うのですが、車で簡単に行き来できると言うことで、かえって人口流出になってしまったそうです。そのせいか若松大島も大変静かで、橋を利用してするのは鹿やタヌキくらい、と言われて大笑いしましたが。

もう一方の頭が島は「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」の中の頭が島集落として世界遺産に登録されていますので、天主堂見学は予約制で、長崎からの既成ツアーもあり、写真では良くご覧になっているかと思えます。



【 頭が島天主堂 】

五島の中では他に久賀島の集落、奈留島の江上集落、野崎島の集落跡が世界遺産に登録されていますが、その集落の中の教会も、同様に見学予約が必要です。

野崎島以外の予約先は「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産インフォメーションセンター」でネットでの予約が可能、簡単に便利です。

五島の旅の終点は旧野首教会のある無人島の野崎島に行くための小値賀島（おぢかじま）でした。

野崎島へは小値賀島からの市営連絡船で往復（片道三十五分）するしか方法が無く、見学予約も野崎島の集落跡だけは「おぢかアイランドツーリズム」で受け付けています。

このおぢかアイランドツーリズムにアクセスすると、野崎島の旧野首教会が予約できるだけでなく、小値賀島内に七軒ほど

改装した古民家を管理しているので宿泊予約もでき、かつ市営連絡船の時間の都合がつかなかった私のために片道はチャーター船の手配、さらに島内での案内、アクティビティなども一つの窓口でできることができ大変便利な観光案内所でした。

その小値賀島から今は無人となった野崎島へ船で渡ると、船着き場に世界遺産なのできれいなビクターセンターがあり、トイレも台所もあり、夕方の帰りの市営船まで、くつろぐこともできます。

（お弁当持参か、アイランドツーリズムで販売のうどんセットで昼食を取れる）

私は島内の案内をアイランドツーリズムにお願いしてあったので、効率良く、民家のあった集落跡、最後の島民となった神社の神官の立派なお屋敷も見てから旧野首教会へ向うことができました。

途中は案内の人たちがサバンナと呼んでいる緑の畑跡に沢山の野生の鹿が走っており、晴れていたなら（その日は土砂降り）本当にアフリカの草原のように見えるところでした。



【 サバンナ 】

山道をくねくねと登っていくと、廃校になった小学校（申し込めば宿泊も可能）と念願の旧野首教会へたどり着きました。



【 旧野首教会内部 】



【 旧野首教会 】

当時の信者達は弾圧でとらえられて平戸監獄に収容されていましたが解禁後に島に戻ることができ、明治四十年に鉄川与助設計で現在残るレンガ造りの天主堂をたった十七世帯で再建しました。

残念ながら四年前の大雨で天井などが傷み、内部に入ることはできませんでしたが、入口から内部を見ることはできました。

これから改修工事のために長い間、全体を覆ってしまうため、再来年の夏までは教会全体を見ることができなくなるとのこと、工事が終わった頃、もう一度行きたいのですが、神様は時間と体力をくださるでしょうか。

大勢のツアーで回るのも楽しいのですが、個人で回ると色々な事に思いをはせ、静かにお祈りしながら回ることもできたことに感謝の旅でした。

（同行の姉が何事にものろいので、半分イライラしながらですが！）

〈信徒連絡会〉 十月八日議事録

◎ 竹内主任神父様のお祈りとお話し

〔報告・今後の予定〕

◎ 十月三日（木） 帰天祭（トランジトウス）

◎ 十月八日（日） フランシスコ祭 信徒連絡会

◎ 十一月一日（水） 諸聖人の日

◎ 十一月二日（木） 死者の日

◎ 十一月五日（日） 死者のミサ 教会委員

◎ 十一月十二日（日） 七五三ミサ 信徒

連絡会 合同堅信式（碑文谷教会）

◎ 十一月二五日（日） 王であるキリストバザー

◎ 十二月二日（土） 教会委員会

◎ 十二月三日（日） 信徒連絡会

◎ 十二月十日（日） よろこびの主日 黙想会

◎ 十二月十七日（日） 窓ふき・大掃除

〔各会報告など〕

◎ 典礼委員会

- ・ 新しいミサの式次第に基づく「いつくしみ」の賛歌」「栄光の賛歌」「平和の賛歌」「感謝の賛歌」を十月のフランシスコ祭から実施します。楽譜のパンフレットが完成し、聖堂の椅子ポケットをセットしましたのでご利用願います。
- ・ 本年のクリスマス・ミサは、十五時の幼稚園ミサと十七時の教会学校ミサをはじめ、二十時、二十三時とコロナ前と同様に実施することを検討しております。

◎ 財務財政委員

- ・ 十月十五日（日）十時〜十一時 二〇八号室にて、来年度に向けた予算説明会を実施します。予算の申請や仮払いなどについても説明いたしますので、各委員会及び活動会の会計担当の方で可能な限り、出席をお願いいたします。

◎ 福音宣教委員会

- ・ フランシスコ祭の作品展… 皆様からお寄せいただいた絵画・俳句および写真作品等の展示を行いました。

◎ 福祉委員会

- ・ 「すべてのいのちを守るための月間」に当たり、慈恵病院「こうのとりのゆりかご」支援の募金活動を九月二十四日に実施いたしました。皆様のご協力による募金は、全額をこのとりのゆりかご事務局に送金いたしました。
- ・ 大震災復興支援として、福島やさい畑の支援のための販売を十月から隔月で再開します。

- ・ 海外宣教の報告会について阿部慶太神父様と検討中ですが十一月以降になる予定です。海外宣教委員会の聖地報告は十一月六日に六本木で行われるとのことです。

◎ バザー委員会

- ・ 九月十日 第五回打ち合わせ実施

- ・ 十月一日 第六回打ち合わせ実施…二七グループの出店申込（屋外希望三件含む）。多くの申し込みをありがとうございます。次回打ち合わせ（十月八日）

- ― バザー申込み内容の確認と配置検討
- ― 出店説明会のドラフト確認
- ― 今後の準備作業内容の確認

◎環境部会

- ・ フランシスコ祭に向けて、プランターにコスモスを植えました。水分が必要ですので、信徒の皆様にも水やりのご協力をお願いできればと思います。特に平日、教会に来られた時にお水をあげていたけると助かります。ジョウロが大聖堂一階ホールの入り口の左側の水道のそばにありますのでご利用ください。なお、水やり終了後の水道の閉め忘れにご注意ください。

◎コーヒースانデー係

- ・ 十月一日より、第一、三日曜日に再開し

ます。突然のご案内でしたが、初回には約五十名に利用いただきました。

「検討事項、経過報告など」

◎敬老の集い（九月十七日）

ミサは十一時、該当者五二六名（七十七歳以降）。集い参加者九一名でした。多くの方々にご参加いただき楽しい時間を過ごすことが出来ました。準備に関係された方々に感謝申し上げます。

◎七五三ミサ（十一月十二日）

参加希望の方は、十一月五日までに受付にて申込お願いします。

◎合同堅信式（十一月十二日 碑文谷教会）

参加者十一名（成人三名、中学生八名）の予定です。

◎黙想会（十二月十日）

- ・ 当日のスケジュール（予定）
七時三十分 通常のミサ
九時 講話

十時 ミサ

ミサ終了後ゆるしの秘跡
ミサが二回となり、時間も変わりますのでご注意ください。

酒井陽介神父様（上智大学）に講師をお願いする予定です。

◎窓ふき・大掃除（十二月十七日）

詳細は追ってご連絡します。ご予約をお願いいたします。

◎ルルドについて

最近ルルドで転倒される方が散見されます。ルルドに入られる際は段差や草に足を取られぬようご注意ください。また、ルルドでろうそくを灯すのは火災防止のため禁止します。

次回の信徒連絡会は十一月十二日（日）
十時〜 大聖堂にて

〈信徒連絡会〉 十一月十二日議

事録

◎ 竹内主任神父様のお祈りとお話

〔報告・今後の予定〕

◎ 十一月十二日(日) 七五三ミサ 信徒連絡会 合同堅信式(碑文谷教会)

◎ 十一月二六日(日) 王であるキリスト

バザー

◎ 十二月二日(土) 教会委員会

◎ 十二月三日(日) 信徒連絡会

◎ 十二月十日(日) よろこびの主日 黙想会

◎ 十二月十七日(日) 窓ふき・大掃除

◎ 十二月二四日(日) 主の降誕(夜半の)

ミサ)

◎ 十二月二五日(日) 主の降誕(日中の)

ミサ)

〔各会報告など〕

◎ 典礼委員会

- ・ 新しいミサの式次第に基づく「いつくしみの賛歌」「栄光の賛歌」「平和の賛歌」「感謝の賛歌」をフランシスコ祭から実施しています。楽譜のパンフレットが完成し、聖堂の椅子ポケットをセットしましたのでご利用願います。

- ・ 今年の待降節はプレセピオ、クリスマスツリーを設置することにします。

◎ 財務財政委員

- ・ 十月二九日(日)に来年度予算申請を行っていたいただきました。ご協力ありがとうございました。教会財政が厳しい中、経費削減にご協力願います。

◎ 福音宣教委員会

- ・ フランシスコ祭の作品展を行いました。多くの絵画、俳句、作品などの展示のご協力ありがとうございました。
- ・ 今年はクリスマスミサの際にクリスマスカードの配布を考えております。

◎ 福祉委員会

- ・ 十月二九日に三年ぶりに東北支援として福島やさい畑の支援のための販売を実施しました。飛ぶように売れて喜ばれました。十二月の販売は十二月十七日を予定しています。

◎ バザー委員会

- ・ 十月二九日 出店説明会実施
- ・ 十一月二五日 前日準備
- ・ 十一月二六日 バザー当日
- ・ 十二月三日 バザー委員会反省会
- ・ 予定出店数・二七グループ 飲食物は例外なく販売不可とします。
- ・ 出店者用の駐車票は発行しません。最小限の台数で、詰めて停めていただきますので途中では出られません。

◎ 環境部会

- ・ 向かいのお宅から「教会の木の枝が屋根にかかっているので切ってほしい」との依頼があり、急遽、業者に依頼し、応急処置として屋根にかかっている枝を切

り落としていただきました。委員も見回りはしておりますが、気が付いた方は受付までお知らせいただければ幸いです。

- ・ 毎年十一月〜十二月は落ち葉が多く、十二月に信徒の方々と落ち葉はきを行いましたと思います。クリスマスミサ前日にも行おうと考えています。日程は改めてお知らせします。

◎印刷室

- ・ 印刷室の複合機(コピー機)が古くなり、サポート内容に制限が出てきたため、新機種に置き換えることとなりました。設置に関しては、印刷室のPCからも印刷できるように設定いたします。

〔検討事項、経過報告など〕

◎本年度のバザー実施について

信徒各自による出店方式にて行います。皆さまのご協力をよろしく願います。飲食及び焼き菓子などの食品は一切見合わせます。マイバッグ、マイボト

ルをお持ちいただく形とし、ゴミ箱は設置しません。

◎七五三ミサ(十一月十二日)

- ・ 十名の申し込みがありました。
- ・ ミサ中の写真撮影を控えていただくようお願いすることに致しました。昨年、ミサや祝福を携帯で撮影されるご家族がいらつしやり、違和感がありました。聖堂内の撮影は原則禁止です。

◎合同堅信式(十一月十二日 碑文谷教会)

菊地功大司教様司式で行われます。当教会の受堅者は十一名(成人三名、中学生八名)、立会いで七名が参加します。

◎黙想会(十二月十日)

- ・ 当日のスケジュール(予定)
七時三十分 通常のミサ
九時 講話、分かち合い
十一時 ミサ

ミサが二回となりますのでご注意ください

い。

◎クリスマスミサの第二会場について

ミサは十五時、十七時、二十時、二十三時です。特に早い時間のミサは多くの参加者が予想されますので、泣き部屋など第二会場を設けます。なお、園児は十五時ミサは参加自由です(幼稚園としては別日にミサを行う予定)。

次回の信徒連絡会は十二月三日(日) 十時十五分〜 大聖堂にて ※第一日曜日の開催です。



〈信徒連絡会〉

十二月三日議事

録

◎ 竹内主任神父様は洗礼式のためご欠席でした

〔報告・今後の予定〕

◎ 十二月三日(日) 信徒連絡会

◎ 十二月十日(日) よろこびの主日 黙

想会

◎ 十二月十七日(日) 窓ふき・大掃除

◎ 十二月二十四日(日) 主の降誕(夜半の

ミサ)

◎ 十二月二十五日(日) 主の降誕(日中の

ミサ)

◎ 一月一日(月) 元旦

◎ 一月七日(日) 十一時ミサ…二十歳の

集い、教会委員任命

◎ 一月二二日(日) 信徒連絡会、もちつ

き、十四時三十分 田園調布地域諸教会

合同祈禱会 ルーテル大岡山にて

〔各会報告など〕

◎ 典礼委員会

・ 今年はプレセピオ、クリスマスツリーを設置いたします。

・ 十二月二四日のクリスマスミサは、コロナ禍前に戻し、四回行います。

・ バザーではクリアファイルを販売し、多くの方に購入いただきました。ありがとうございました。

◎ 財務財政委員

・ 教会の財政が厳しくなっています。修繕積立金を一部取り崩している状況です。月定献金など、献金へのご理解、ご協力をお願いいたします。

◎ 福音宣教委員会

・ 主の降誕の夜半ミサにクリスマスカードの配布を予定しています。

◎ 福祉委員会

・ バザーで残った子供服と婦人服、また寄

付していただいた子供服や靴等を、例年支援していた奄美大島カトリック名瀬聖心会教会に寄付いたします。

・ 海外宣教委員会の阿部慶太神父様に活動支援金を十一月二八日にお渡ししました。海外宣教の報告会は二〇二四年に当教会で行うことを検討する予定です。

・ 久が原のフランシスコ子ども寮の自立支援金を二〇二三年中にお届けする予定です。

・ 「福島やさい畑」の販売を十二月十七日に行います。

・ カリタスジャパンが十一月二日に「ガザ人道支援」の募金活動を決定し、受付を開始しております。当教会では十二月十七日に実施いたします。

◎ バザー委員会

・ 十一月二六日(日) 七時半ミサ後から十三時までバザー実施。小雨で最高気温十℃

・ 出店数 二七グループ、飲食なし

・ 最終報告会が出た声(一部)

飲食はほしい／今回の形はスリムで効率的／ホームページでのお知らせに加え、ポスターを張り出しても良かった／バザーに参加している人の所属が分かるより交流ができたと思う／ゴミが出なくて良かった。来年以降に飲食を出す場合、ゴミ袋を渡す形式が良い／例年よりお客さんと会話が良くできた。

・ 多くの方々の出店含めご参加いただきました。来年も引き続き新しいかたちのバザーを検討していきます。お気づきになった点、新たな提案など宜しくお願ひ致します。

・ 十二月三日 バザー委員会反省会

◎環境部会

・ もみの木を伐採した後の場所に、信徒の方からいただいたオリーブの木を植えました。大きくなるよう、皆様と一緒にお世話していきたいと思ひます。

・ クリスマスのミサを綺麗な教会で迎えられるよう、その前日に落ち葉掃きを実施いたします。

◎印刷室

・ 印刷室に新しい複合機（コピー機）を設置しました。使用にあたっては、事前に受付にご相談ください。基本的には、教会内活動にかかわる使用のみとします。

〔検討事項、経過報告など〕

◎七五三ミサ（十一月十二日）

・ お子さま十一名が参加しました。
・ ご家族には、ミサ中とミサ後の写真のCDを信徒会館受付にてお配りします。

◎合同堅信式（十一月十二日 碑文谷教会）

菊地功大司教様司式により、六一名の方が式に臨まれました。当教会からは十一名（うち八名が中学生）の受堅者が参加し、ご家族・友人・スタッフと共にお祝いし喜びを分かち合いました。

◎黙想会（十二月十日）

講話「ともに歩む教会」 講師 酒井陽介神父様（上智大学） 講話後に分かち合いを行います。

◎クリスマスミサの第二会場について
ミサは十五時、十七時のミサは泣き部屋など第二会場を設けることを検討。

◎二十歳の集い（一月七日 十一時ミサ）
※受洗していない方もご参加いただけます
※当教会在籍の方二二名には往復はがきでのご案内します

◎もちつき（二月二日）
教会学校、ボーイスカウト、ガールスカウトなどのこどもたちを中心の対象として計画しています。

次回の信徒連絡会は一月二日（日） 十時十五分〜 大聖堂にて ※第三日曜日の開催です。